

# 保永堂版東海道五拾三次 デジタル復元

## 鮮やか絵巻物 京都市に贈る

米国・ボストン美術館が所蔵する歌川広重の浮世絵の連作版画「保永堂版東海道五拾三次」を最新のデジタル印刷技術で復刻した絵巻物を、印刷大手のトッパン・フォームズが14日、京都市に寄贈した。江戸・日本橋から京・三條大橋まで55点を鮮やかに再現、上下2巻に収めている。



京都市に寄贈された「東海道五拾三次絵巻」(中京区・京都市役所)

同社は2002年から高度な印刷技術で、「鳥獣人物戯画」など国宝の絵巻物の複製に取り組んできた。その過程で縁のあった同美術館が所蔵する人気の高い連作版画を、絵巻物として原寸大で復刻した。

総数500点を超える連作の中から、一般公開のコレクションを中心と同美術館の学芸員が厳選。同社で、浮世絵に使われた岩絵の具やぼかし技法なども検証しながら、耐光性の高いトナーを使用したデジタル印刷により色彩や質感を表現したという。絵巻物になったことで、旅の行程を追うようにも楽しめる。

この日、同社の米田広宣執行役員らが京都市中京区の市役所を訪れ、「一人でも多くの人に

### 印刷大手 「旅の行程 楽しんで」

絵巻物として鮮やかに復刻された「京師・三條大橋」



五拾三次絵巻 上巻  
見て触れて、感じてもらいたい」と2セットを門川大作市長に手渡した。

市は1セットを15日から5月末まで市国際交流会館(左京区)で公開、もう1セットを4月下旬に姉妹都市提携60周年でボストンを訪れる際に届けることにしている。

(栗山圭子)